

令和 6 年度平塚保健福祉事務所健康危機対処ガイドライン訓練 訓練概要

(1) 目的

新興感染症に係る発生届が提出されたことを想定して、実動訓練を行うことにより、次の 3 点を達成することを目標とする。

- ① 各班が作成したマニュアルや帳票（様式）により、実際に処理が進むのか確認する。
- ② 班と班との情報のつながりや流れを知り、班業務の過不足を洗い出す。
- ③ 参加者がそれぞれ各班の対応を知ることにより、所の対応全体を把握する。

(2) 実施日・会場

日時 令和 7 年 2 月 4 日(火) 13:10~16:15

会場 平塚保健福祉事務所 3 階 大会議室

(3) 参加者

- ・平塚保健福祉事務所職員 26 名
- ・厚木保健福祉事務所職員 2 名(見学)

(4) 内容

(ア) 想定事例

- 事例 1：20 代男性・居酒屋バイト・単身・茅ヶ崎市在住の患者
・勤務後、勤務先近くの平塚市内の医療機関受診し、発生届が当所に届いた事例。
- 事例 2：50 代男性・有料老人ホーム・3 人家族・平塚市在住の患者
・重症感強く昨日医療機関受診、本日陽性確定し、発生届が当所に届いた事例。
・前々日まで有料老人ホームで勤務。
・同居人は、妻 40 歳（コンビニパート）と子 10 歳（小学生）の 2 名。共に無症状。

(イ) 事例ごとの対応

- 事例 1：他保健所へ通報し、終了。
- 事例 2：患者は HWC の調整の上入院し、入院翌日の健康観察で終了
同居人 2 名は、HWC にて行政検査し、陽性にて発生届（HWC 医師）で終了
勤務先調査し、有症状者は受診調整。無症状者は集団検査実施で終了